

静岡医療コミュニケーション研究会

SMC (Shizuoka Medical Communication)

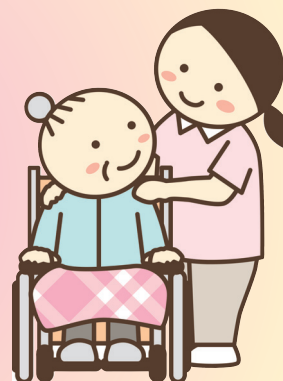
静岡医療コミュニケーション研究会とは…

患者と医療者との相互理解を深めることを目的として、お互いのコミュニケーション向上を目指す活動を通じて、模擬患者 (Simulated Patient) の養成と派遣を行っているボランティア団体で、平成11年4月に発足しました。



模擬患者 (SP)

医療コミュニケーショントレーニングの場で、事前に設定された症状や家庭環境等の患者になりきり、トレーニングの相手である医療者からコミュニケーション(模擬診察等)を受ける患者役のことを言います。



医療コミュニケーション研究会の活動

患者と医療者が共に病気と向き合うためには、互いのより良い関係を作るコミュニケーションが不可欠です。

そこでわたし達は、SP（模擬患者）を使った方法で、医療者のコミュニケーション向上を目指しています。

また、患者自身も医療者と積極的にコミュニケーションを図ることの大切さに気づき、より良い医療を受ける事ができるように、広報誌（SMC）の発行、講師を招いた講演会開催等の活動を通して、市民啓発を行っています。

●模擬患者を使ったセミナー

模擬患者として、病院などの医師・看護師・薬剤師を対象とした研修会で活用してもらうため、それぞれにあったシナリオをつくり、月一回の定例会等で患者を演じる練習をしています。

すでに、県内の病院等で「医療コミュニケーション研修」を行い、少しずつ実績をあげています。



●セミナー参加者の声

- ※相手の気持ちになって考える努力をする大切さを知りました。
- ※不安をどう受け止めれば治療に臨んでもらえるのか、家族関係も含めて看護師の受容対応が勉強になりました。
- ※ロールプレイを見て、自分ならばどうするか、患者はどのような気持ちでいるか、考えるきっかけになりました。

●講演会・広報活動への参加呼びかけ

治療を医療者に任せきりの人が多くいます。しかし、糖尿病や高血圧などの生活習慣病が増えた現在では、医師からの説明をよく理解し、自ら治療にかかわっていくことが大切です。

医療への関心を深めて頂くために、講演会の開催や広報誌の発行を行っています。

●医療研修に模擬患者を活用してください

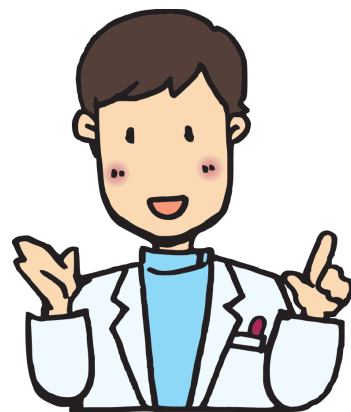
これまでに、病院の医師・看護師・薬剤師・医学生・看護学生・薬学生等を対象とした研修を行ってきました。

SPとのコミュニケーションの体験を、医療現場、教育機関においては是非活用して下さい。

あなたもSP（模擬患者）になりませんか？

すべての人が患者になる可能性があるわけですから、誰でもSP（模擬患者）を演じる能力があります。

是非、一度チャレンジしてみてもいい。





医療者の研修会に模擬患者として参加（前方右側が模擬患者）

●御協力いただいた医療関係機関

静岡県立総合病院
静岡てんかん・神経医療センター
静岡赤十字病院
静岡済生会病院
静岡市立静岡病院
富士宮市立病院
浜松医科大学
静岡県立大学薬学部
静岡県立大学看護学部
静岡県看護協会
静岡市医師会
静岡市保健所



問合せ先

静岡医療コミュニケーション研究会事務所

〒420-0882 静岡市葵区安東1-22-25

TEL・FAX 054-248-0348

<http://www.smc-jp.com/>